

2025 年 6 月 3 日

一般社団法人日本パラ陸上競技連盟  
登録会員各位

## New Delhi 2025 World Para Athletics Championships

### 日本代表選手の選考について（改訂版）

一般社団法人日本パラ陸上競技連盟

2025 年 9 月 26 日～10 月 5 日にかけて開催される「New Delhi 2025 World Para Athletics Championships ニューデリー2025 世界パラ陸上競技選手権大会」について、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟（以下本連盟）は 2025 年 2 月 6 日に選手選考基準を公開いたしました。その後、World Para Athletics より大会要項が届き実施種目が確認されたこと、若手および開始間もない選手への機会拡大を図り、選手選考基準の一部を変更し、新たに派遣基準を設定いたします。選考基準の変更箇所は下記の赤字部分、ならびに、変更した派遣基準記録は別添派遣基準のうち青でマークした箇所となります。

#### 記

#### I. 選考対象条件

パラリンピック競技大会陸上競技実施予定種目（以下、実施種目）を選考対象種目とし、以下を選考対象者の条件とする。

1. 2025 年度本連盟登録会員であること。
2. 2025 年シーズン国際パラリンピック委員会選手登録をし、ライセンスを有すること。
3. 以下の①もしくは②のクラス分けステータスを持つこと。

① World Para Athletics（以下、WPA）の国際競技クラスステータスが

“Confirmed”もしくは“Review”であること（FRD2025 を含む）。

国際競技クラスと国際クラスステータスは次のサイトで確認が可能である。

<https://www.paralympic.org/athletics/classification/master-list>

② “New”の場合、以下の (1) および (2) を満たすこと。

(1) T/F20 以外のクラス：本連盟のクラス分けを受け、国内で有効な競技クラスを有すること。

T/F20 クラス：virtus 登録が完了していること。

- (2) 2024 年 1 月 1 日～2025 年 6 月 22 日の間に WPA 認可競技会に出場し、有効な記録を有すること。
4. WPA 認可競技会にて実施種目の参加標準記録を突破していること。ただしユニバーサルリレーのメンバー選考においては短距離（100m～400m）の実施種目いずれかの参加標準記録を突破していること。
5. 個人種目については別途定める派遣標準記録を突破していること。

## II. 派遣標準記録の突破期間

代表選手の決定およびエントリーのプロセスを考慮し、本選考における参加標準記録および派遣標準記録の突破期間を 2024 年 1 月 1 日～2025 年 6 月 22 日までとする。

## III. 標準記録突破のための指定競技会

1. 参加標準記録ならびに派遣標準記録について国内外の「WPA 認可競技会」を指定競技会とする。
2. 国外の「WPA 認可競技会」の記録のうち、(i) 2024 年 1 月 1 日～12 月 31 日までの記録については、2025 年 6 月 22 日にダウンロード可能な 2024 年 WPA ランキングに掲載の記録、(ii) 2025 年 1 月 1 日～6 月 22 日の記録については、本連盟にて定められた大会参加申請書（国外用）が事前に提出、および所定期間内に報告書の提出があった競技会の公認記録のみを対象とする。大会参加申請書の事前提出および所定期間内の報告書の提出がなかった公認記録は本選考の対象外とする。ただし、本連盟強化委員会の派遣により参加した競技会の公認記録については、申請書および報告書の提出は必要ない。

大会参加申請書：<https://para-ath.org/committee/secretariat/20190610-001-84>

注：本選考基準に関わらず、本連盟登録選手が国外の大会に出場する際は大会参加申請書ならびに報告書の提出が求められます。

## IV. 選考方法

1. 個人種目
- I. 1. ～ 5. の条件を全て満たした選手に対して、以下の順で、選考委員会で選考を行い、理事会の承認をもって決定する。**ただし、1 種目につき最大 3 名までとする。**
- ① 派遣標準記録突破期間内の国内外の「WPA 認可競技会」での記録突破選手。
- ①の対象選手が 3 名を超える場合、記録上位の選手を 3 名まで選考する。
- ② T54 男子 800m、1500m、5000m について、競技特性と近年の状況を鑑み、以下の選

手を選考する。ただし①の選手が優先される。

「2025 年 WPA グランプリ・ドバイ大会およびスイス大会において、決勝（タイムレースの場合は最終結果）で首位から 1 秒以内にフィニッシュした選手」

- ③ 22 歳以下、もしくはパラ陸上競技の開始（本連盟登録した年度）が 2022 年度以降である選手については Under 標準を適用する。ただし、①、②の選手が優先される。

## 2. ユニバーサルリレー

ユニバーサルリレーのメンバーについて、I. 1. ～ 4.の条件を全て満たした選手を対象に、上位入賞およびチーム構成上の観点から、強化委員会で選出し、選考委員会で審査を行い、理事会の承認をもって決定する。

なお、IV. 1. 個人種目にて選考されなかった選手でユニバーサルリレーメンバーとして選考された選手は、強化委員会の判断により短距離（100m～400m）の実施種目にも出場を可能とする。

## 3. 上記以外の選考方法

種目の実施可能性、重度障害、性別、その他条件により、WPA へ Direct Invitation を申請する場合がある。また、WPA との協議などにより、上記の方法を経ずに選考する場合がある。この場合は理事会の承認をもって決定する。

## V. その他

1. 代表選手は「誓約書」に署名し本連盟に誓約書を提出すること。提出しない者は選考を取り消す。またユニフォーム規程を順守すること（日本代表ユニフォーム着用時の写真等は本連盟の許可なく使用できないので注意すること）。
2. 2025 年度強化指定ランクに応じて自己負担額を設ける。2025 年度強化指定基準ならびに自己負担額については後日公表する。
3. 代表選手は事前の代表合宿の参加を原則義務付ける。参加できない場合は代表選手を取り消すことがある。なお、事前の代表合宿は 8 月に実施予定である。詳細は後日公表する。
4. 本連盟の代表選手として不適切な行動のある場合は代表選手を取り消すことがある。
5. 大会までに病気や故障等の医学的な問題により、競技力を発揮できない事態が生じた場合や、アンチ・ドーピング規則違反、その他参加が不可能な状況が発生した選手について、強化委員会と医事委員会等で協議の上、代表を取り消すことがある。この場

合選考委員会を通じて、理事会にて最終判断する。

6. 大会前にメダル授与対象外（ノンメダル）となった種目については、選手選考した後でも、派遣を中止することがある。
7. 世界パラ陸上競技選手権大会の参加資格および実施競技が変更されるなど、本選手選考について変更する必要がある場合は、本連盟ホームページで公表する。
8. 登録会員が本選考基準について異議のある場合、本選考基準公表後 1 週間以内に本連盟事務局まで電子メールにて連絡することができる。異議については理事会で審議し、対応は本連盟 HP で公表する。

日本パラ陸上競技連盟事務局電子メールアドレス：[jpa-jimu@para-ath.org](mailto:jpa-jimu@para-ath.org)

以上